

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 63号

2013/08/26 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：高値均衡状態が続いている。コートジの天候状況が材料。

①週最高：12月LDN市場£1,660 / 12月NY市場\$2,520 (8/20)	先週比 LDN+£5/NY+\$21
②週最低：12月LDN市場£1,623 / 9月NY市場\$2,450 (8/21)	先週比 LDN-£15/NY-8
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£43 (傾向→) / NY市場\$70 (傾向→)	
週内建玉推移：LDN市場 216,780枚(8/16終了時)⇒219,361枚(8/23終了時)	+2,581枚
NY市場 183,713枚(8/16終了時)⇒185,474枚(8/23終了時)	+1,761枚

【8月19日(月)】両市場とも上昇

ロンドン、ニューヨーク両市場とも上昇。

ニューヨーク市場の12月きりは続伸し、17ドル(0.7%)高の2512ドルで終了。

ロンドン市場は反発。12月きりは序盤の下落から上げに転じ、8ポンド(0.5%)高の1658ポンドで引けた。

英国を拠点にするブローカーは「短中期ではテクニカル的にはニュートラルだ。12月きりが1613ポンドを上回っている限り、長期的には前向きな値動きとなるだろう」と述べた。ディーラーらは依然としてコートジボワールの天候を注視している。

【8月20日(火)】両市場とも続伸＝乾燥天候への懸念で

ココア先物は、カカオ豆主産地の西アフリカの乾燥天候に対する懸念を背景にした投機筋の買いが入った。

ニューヨーク市場の12月きりは続伸し、8ドル(0.3%)高の**2520ドル**で終了した。一時、2547ドルまで値上がりする場面も見られた。出来高は米東部時間午後0時22分(1622GMT)時点で約1万3600枚と、薄商이었다。

RJOフューチャーズ(シカゴ)の上級市場ストラテジスト、ヘクター・ガルバン氏は「ココアは引き続き、天候相場となっている」と述べた。

ロンドン市場の12月きりも続伸し、2ポンド(0.1%)高の**1660ポンド**

【8月21日（水）】両市場とも急反落＝コートジボワールの降雨予想に

コートジボワールの降雨予想を受けて乾燥天候に対する懸念が後退、両市場とも急反落して引けた。

同国ではメインクロープを前に平年よりも降水量の少ない状態が続き、2013～14年産の収穫高が落ち込むとの見方が取り沙汰されていた。

ロンドン市場の12月きりは37ポンド（2.2%）安の**1623ポンド**で終了。前日には11カ月ぶり高値の1673ポンドを付けていた。

あるアナリストは「（乾燥天候で）多少の被害は出たはずだ。収穫が素晴らしいものになるとは思っていない。今後2～3週間、雨が十分でなければ、ひどい収穫になる可能性も残っている」と述べた。ニューヨーク市場の12月きりは70ドル（2.8%）安の**2450ドル**で取引を終えた。前日は9カ月ぶりの高値となる2547ドルまで上伸していた。

【8月22日（木）】両市場とも値固めで反発

ニューヨーク市場は値固めで堅調に推移、12月きりは4ドル高の2454ドルで引けた。

コートジボワールの天候回復は、メイン・クロープの予想を押し上げる見通し。ロンドン市場の12月きりは6ポンド高の1629ポンドで引けた。

【8月23日（金）】続伸

ココア先物は続伸。カカオ豆主産国であるコートジボワールの天候が、引き続き注目された。

ニューヨーク市場の12月きりは、11ドル（0.4%）高の2465ドルで終了。

ディーラーらによると、コートジボワールでの降雨は不十分で、これまでの乾燥による作物への打撃への懸念を緩和するには至っていないという。ロンドン市場の12月きりは、7ポンド（0.4%）高の1636ポンドで引けた。

2、カメルーンのカカオ豆農家、乾燥天候で減産を懸念（8/24）

カメルーンのカカオ豆生産地では、今年度（2013年8月～14年7月）の収穫が始まったばかりだが、ここ数カ月の乾燥と低温な天候で、全国生産の約60%を担う中部、南部、東部では減産懸念が高まっている。農家らが22日明らかにした。

通常年の中・南・東部の雨期は3月中旬～10月中旬だが、同地域の農家らによると、今年は早いところで6月から雨がやみ始めたという。

中部バフィアの農家は「これほど劇的な天候の変化は、今まで見たことがない。今度の収穫には良い兆候ではない」と述べた。また南部エボルワの農家も異常気象を指摘。「曇りの日が多く、夜は気温が低く乾燥している。いつものように開花しておらず、こうした花についての若い実は、降雨不足ですぐに乾いて落ちてしまうだろう」と述べた。東部からも同様の報告がされている。

3、コートジボワール、カカオ豆着荷量 6月30日までに1,283,807トンに達する(8/19)

世界最大のカカオ生産国コートジボワールのカカオ豆の港着荷量はシーズン開始の10月から6月30日までで1,283,807トンに達したと輸出業者が公表した。昨年同時期の着荷量は1,264,479トンであった。

同国財務省ホームページにて公表しているデータによると 10 月 1 日から 6 月 30 日までのカカオ豆と半製品の輸出量は 1,302,864 トンに達し、昨期より 8 % 近く増加している。

4、ガーナ・ライトクロップのカカオ買い付け数量、8 月 8 日時点で 44,957 トン (8/22)

ガーナのカカオ豆監督機関、ココア委員会 (C o c o b o d) はカカオの買い付けが 7 月初旬のライトクロップの収穫開始から 8 月 8 日までに 44,957 トンに達し、昨年の 28% に達したと発表した。

11 週間あるライトクロップシーズンの 5 週目の週間買い付け合計量は先々週よりも少なかった先週の収穫数量 2,027 トンから今週は 1,287 トンにさらに落ち込んだ。

コートジボワールに次いで世界で二番目に大きいカカオ生産国であるガーナでは、通常国内のカカオ磨砕業者に安く販売されるライトクロップ期の豆はおよそ 90,000 トン収穫されると想定されている。

5、米国のココアバターレシオが 4 年半ぶりに高値、パウダーの在庫過多 (8/23)

- アメリカのバターレシオは 2.60-2.65 に急上昇
- レシオは未だ 40 年間の平均値内に留まっている
- ココアパウダーの価格は昨年の 50% に下落
- アメリカのカカオ加工業者は加工数量を増やしている

今週、アメリカのココアバターのレシオは今週過去 4 年半の中で最高値をつけ、チョコレートメーカー各社はその在庫確保に奔走し、一方でココアパウダーの需要の減少が在庫過多の状況を生み出し、価格を押し下げたとトレーダーは説明する。

二つの傾向がチョコレートの主原料であるココアバターとパウダーのレシオの逆転は以前から予兆としてあった。昨年のココアバターの供給余剰を全て消化した後に、再度、米国のチョコレートメーカーがココアバターの買付けを開始したことで、ココアパウダーの在庫が積みあがってしまった。

アジアとその他の地域が数年間成長と共にココアパウダーの使用が増えていたため、チョコレートメーカーではココアパウダーの使用量を減らした配合に切り替え、その結果としてパウダーに対する需要は下落したとトレーダーは言う。

『ポイントとなる問題は加工業者はココアバターの需要に答える為に製造を行うと、ココアパウダーが出来てしまうが、そのココアパウダーを販売できないことだ』と、ペンシルバニア州ベツレヘムのコモディティリスク アナライシス社のスティーブン・ホーズは言う。

カカオ豆が加工される際、パウダーとバターの両方が製造される。ココアバターレシオは先週より 7% 増加、先月より 13% 増加し現在では ICE ニューヨークカカオ先物相場の価格に対して 2.6-2.65 倍当たりの価格で留まっている。

歴史的にみれば過去の平均値内に収まっている一方で、過剰在庫により打撃を受けた数年前から見れば、ココアバターレシオは劇的な回復を遂げた。コモディティリスク アナリシス社の一部署であるノレッジチャートのデータによると、アメリカのバターレシオは2009年3月以来の最高値である。

レシオは日々変わる価格であり、ニューヨーク市場のカカオ豆相場に相関している。現在のレシオでは、バターの価格はニューヨーク市場のカカオ豆相場の2.6-2.65倍であり、火曜の終値から計算すると\$6,380-\$6,503/トンである。

チョコレートメーカーのリンツ社とハーシーズ社は最近豆からの加工を北米、欧州、アジアの磨砕工場を増やしたことで売上が改善したと報じた。

ユーロモニターはアメリカのチョコレート会社の今年の販売量合計を2012年と比較し2%減と予測する。

アジアではチョコレートメーカーがココアバターの期近の買い注文を急ぎ、磨砕業者は販売に積極的ではなかった為、バターレシオは先週ロンドン市場で5年来の高値をつけ、2.35-2.40になった、とトレーダーは言った。

一方パウダーの価格は、アジアの需要も強くなく、供給過剰のため急速に下落した。アジア市場ではパウダーはアイスクリームやチョコレートドリンク、コンパウンドチョコレートのようなお菓子に使用されている。

『岩が転がり落ちるようにパウダーの価格は下落した』とベテランカカオトレーダーは言った。

勿論、品質（規格）によってパウダーの価格変動の動きは異なる。10/12FATのナチュラルパウダーはアメリカで今週\$2,000/トンをつけ、一ヶ月前から13%下落しており、1年前の\$4,000/トンの半分になっているとトレーダーは言う。

ただ、アジアの需要がちょうど高まり始めた2009年にパウダーは\$1,000/トンで売られていた。

当時のパウダーの価格高騰はアジア市場でチョコレートメーカーがアジアの高い気温でも溶けない製品を作る為のパウダーの需要が強くなったことにより発生した。そしてそれはアメリカのチョコレートメーカーが消化しなければいけない大量のバターの在庫を作り出し、2012年にココアパウダーの価格がココアバターの価格の二倍になるという珍しい価格の逆転を生じさせた。

このためいくつかの磨砕業者は、ココアバターの製造をしても利益が薄いため、製造量を減らすもしくは加工を止め、どこからかバターを仕入れてくる選択を取らざるを得なかった。現在彼らは反対の状況にあり、ココアパウダーの価格が低すぎる為、製造することを減らしたり、やめたりしている。

『私達は再度在庫を積み増している』、『磨砕量はかなり減っており、これは基本的にいくつかの磨砕業者が製造をとめている反動である。』とアメリカのトレーダーは言っている。

6、コートジボワールのカカオ豆収穫、乾燥・低温で収穫に遅れ（8/23）

コートジボワールのカカオ豆農家らは19日、数週間に及ぶ乾燥と低温、日照不足の影響を受け、主要産地における収穫作業が少なくとも1カ月は遅れるとの見方を示した。中西部ダロアの農家は「長期の雨不足で、不作になるだろう」とし、「深刻な状況だ」と語った。また、南部ディーボヤ、西部ガニョアも天候の影響を受け、生育状況は良くないという。

*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております！！こちらも何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp